

「当院における急性虫垂炎に関する包括的疫学研究」 について

1. 研究の対象

当院で 2013 年 4 月から 2022 年 3 月末までに急性虫垂炎（虫垂腫瘍など悪性疾患を疑う場合は除く）に対して虫垂切除術を施行された患者さまが対象となります。

2. 研究目的・方法

【目的】急性虫垂炎は治療の原則は手術ですが、複雑な虫垂炎などは炎症が広がり盲腸切除術や回盲部切除術といった拡大手術となってしまうことも少なくありません。そのため、膿瘍ドレナージならびに interval appendectomy*を検討する場合があります。しかし現在のところ急性虫垂炎、特に複雑な虫垂炎に関しての適切な治療法に関しては一定の見解は得られていません。

そこで、当院での過去の急性虫垂炎に対して手術を行った症例で情報を収集して考察し、急性虫垂炎の適切な治療を検討することを目的としています。

* interval appendectomy

感染に対して保存的治療を第一選択として実施し、感染の鎮静後に時間を置いて待機的に虫垂切除を行うこと

【方法】対象となる手術を実施した患者さまについて、電子カルテなどの診療情報からデータを収集します。

すべて過去の通常診療で行われた診療情報を収集することとしており、研究のために今後新たに患者さまに何かしていただくことはありません。

【研究期間】2022 年 11 月 16 日から 2026 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

【情報】性別、年齢、再発もしくは初発か、入院期間、体温、自覚症状（腹膜刺激徴候や嘔気嘔吐、下痢など）併存疾患、来院時および入院経過中の血液生化学検査等（白血球、CRP 等）、CT 所見、発症から手術までの日数、手術術式、手術所見（手術時間、出血量、ドレインの有無 等）、術後合併症 など

* 本研究では、試料（血液や組織など）は使用しません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

【連絡先】

研究責任者： 大井 和哉 （ 外科 ・ 医員 ）

実施医療機関名： 国家公務員共済組合連合会 大手前病院

住所： 〒540-0008 大阪府中央区大手前 1-5-34

電話番号： 06-6941-0484（代表）（平日：9：00～17：00）

（作成日： （西暦）2022年11月16日）